

ネットワーク

最前線紹介

安心して住み続けられる心豊かな まち山陽小野田市

山口県山陽小野田市市民生活部環境課

山陽小野田市は、山口県の南西部に位置し、南北が約20km、東西が約15km、総面積は132.99km²です。

本市は市街地を囲むように丘陵部の里山、河川、干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然のほか、森と湖に恵まれた公園、海や緑に囲まれたレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。



本山岬公園（くぐり岩）

古くから山陽道や山陰と山陽を結ぶ交通の要衝の

地として栄え、江戸時代には、本市を通っている山陽道が参勤交代や商品流通などの道として利用され、現在は、山陽自動車道、JR山陽新幹線などの高速交通網の整備により、利便性が高い交通の要衝となっています。

また、石炭産業が盛んで、明治14年には、日本初の民間セメント会社が創立されるなど、明治以来、窯業・化学工業を中心に工業の街として発展してきました。

市民生活部環境課は、課長・課長補佐をはじめ生活衛生係3名、環境保全係3名、環境調査センター3名で構成されており、環境保全・生活衛生の2係で公害、空地、犬・猫などの苦情の対応をしています。職員がそれぞれ業務を分担していますが、苦情相談が多く寄せられた場合は、協力し合って相談対応に当たっています。

本市が受理した公害苦情受理件数の推移は、ダイオキシン問題が大きな広がりを見せた平成10年度の113件をピークにその後はやや落ち着いており、近年は減少傾向にあります。平成28年度は42件の公害苦情件数があり、種類別に見た公害苦情件数の内訳は、大気汚染が40%で最も多く、騒音20%、水質汚濁19%、悪臭11%、振動7%、その他3%という順となっています。

特に、近年は一般家庭を発生源とする屋外燃焼行為（野焼き）に関する苦情が多くなっています。住宅開発により、新しい住宅と農地が混在する地域が増えたことや地域のコミュニティが希薄であることが苦情にまで発展しているような気がします。

また、法的な規制がない苦情については、相談者が満足するに至らないケースが増えており、苦情処理対応には苦慮しています。

今後、市民から行政に対する要望が多様化するなか、職員一丸となって苦情等の解決に取り組み、

市民や事業者に対する環境保全への理解や協力を環境教育・環境学習を通じて深めて頂くとともに、職員のスキルアップを心掛け、市民の住みよい環境保全のために努力してまいりたいと思います。